

平成 25 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福島福祉施設協会

# 平成 25 年度 社会福祉法人福島福祉施設協会

## 事業報告書

### 1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するため、地域社会と密接な連携を保ちながら、施設機能の活用を図るとともに福祉向上に努めた。

### 2. 法人運営

- (1) 社会情勢に適応し、豊かな福祉社会の形成に努めた。
- (2) 創意工夫と能力の開発に努め、自主的改善を図った。
- (3) 独自性を発揮し、地域福祉の拠点的活動の推進を図った。
- (4) 職員の人材確保のため、臨時雇用職員の賃金の見直しや勤務形態の柔軟性を図り処遇改善に努めた。
- (5) 指定管理施設のあり方を見直し、継続した管理運営が行える体制づくりに努めた。
- (6) 長期的に安定した経営を行うための検討を行った。

### 3. 役職員の資質向上

- (1) 人間性の向上と職員の士気高揚に努めた。
- (2) 役職員の意思疎通を図り、施設運営の高揚に努めた。
- (3) 職員の人材確保に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の修得向上に努めた。

### 4. 施設改善事業

- (1) 施設の改修を行い環境改善に努めた。
- (2) 施設の器具、遊具等の点検を行い安全管理に努めた。
- (3) 放射能汚染から利用者の安全を確保するため、除染事業を行った。

### 5. 評議員会・理事会・監事会の開催

#### (1) 評議員会

平成 25 年 5 月 28 日（火）

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 議案第 1 号 | 平成 24 年度事業報告の件        |
| 議案第 2 号 | 平成 24 年度各会計決算認定の件     |
| 議案第 3 号 | 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件 |
| 議案第 4 号 | 定款の一部変更の件             |

平成 25 年 12 月 18 日（水）

- |         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 議案第 5 号 | 専決処分承認の件                             |
| 専決第 1 号 | 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件                |
| 議案第 6 号 | 「福島市保育士等処遇改善臨時特例事業補助金」に係る一時金支給要綱制定の件 |
| 議案第 7 号 | 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件                |

平成 26 年 3 月 17 日（月）

- 議案第 8 号 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 9 号 就業規則一部変更の件
- 議案第 10 号 給与規程一部変更の件
- 議案第 11 号 ホームヘルパーステーションめぐみ（指定訪問介護）運営規程の一部変更の件
- 議案第 12 号 ホームヘルパーステーションめぐみ（介護予防訪問介護）運営規程の一部変更の件
- 議案第 13 号 平成 26 年度事業計画策定の件
- 議案第 14 号 平成 26 年度各会計資金収支予算の件
- 議案第 15 号 理事選任の件
- 議案第 16 号 常勤役員の給与等に関する規程の一部変更の件

(2) 理事会

平成 25 年 4 月 1 日（月）

- 議案第 1 号 会長選任の件
- 議案第 2 号 副会長選任の件
- 議案第 3 号 常務理事選任の件
- 議案第 4 号 会長職務代理者選任の件

平成 25 年 5 月 28 日（火）

- 議案第 5 号 平成 24 年度事業報告の件
- 議案第 6 号 平成 24 年度各会計決算認定の件
- 議案第 7 号 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 8 号 定款の一部変更の件

平成 25 年 12 月 18 日（水）

- 議案第 9 号 専決処分の件
- 専決第 1 号 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 10 号 「福島市保育士等処遇改善臨時特例事業補助金」に係る一時金支給要綱制定の件
- 議案第 11 号 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件

平成 26 年 3 月 17 日（月）

- 議案第 12 号 平成 25 年度各会計資金収支補正予算の件
- 議案第 13 号 就業規則の一部変更の件
- 議案第 14 号 給与規程の一部変更の件
- 議案第 15 号 ホームヘルパーステーションめぐみ（指定訪問介護）運営規程の一部変更の件
- 議案第 16 号 ホームヘルパーステーションめぐみ（介護予防訪問介護）運営規程一部変更の件
- 議案第 17 号 平成 26 年度事業計画策定の件
- 議案第 18 号 平成 26 年度各会計資金収支予算の件
- 議案第 19 号 施設長任命の件

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 議案第 20 号 | 評議員選任の件               |
| 議案第 21 号 | 副会長選任の件               |
| 議案第 22 号 | 常務理事選任の件              |
| 議案第 23 号 | 常勤役員の給与等に関する規則の一部変更の件 |

(3) 監事会

平成 24 年度業務執行、財務状況監査

平成 25 年 5 月 20 日 (月) 21 日 (火)

6. 役員研修会への参加

平成 25 年度社会福祉法人等代表者会議

- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 主 催 | 福島県保健福祉部            |
| 期 日 | 平成 25 年 6 月 4 日 (火) |
| 場 所 | 郡山市 郡山市労働福祉会館       |
| 出席者 | 槇 恵一 (副会長兼常務理事)     |

平成 25 年度福島県社会福祉協議会・社会福祉施設経営者協議会総会  
並びに社会福祉経営者セミナー

- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 主 催 | 社会福祉法人福島県社会福祉協議会    |
| 期 日 | 平成 25 年 7 月 1 日 (月) |
| 場 所 | 福島市 福島ビューホテル        |
| 出席者 | 木村 六朗 (会長)          |

平成 25 年度社会福祉法人監事研修

- |     |                      |
|-----|----------------------|
| 主 催 | 社会福祉法人福島県社会福祉協議会     |
| 期 日 | 平成 25 年 12 月 6 日 (金) |
| 場 所 | 郡山市 ビックパレットふくしま      |
| 出席者 | 阪内 戦三郎 (監事)          |

平成 25 年度社会福祉法人理事研修

- |     |                       |
|-----|-----------------------|
| 主 催 | 社会福祉法人福島県社会福祉協議会      |
| 期 日 | 平成 25 年 12 月 12 日 (木) |
| 場 所 | 郡山市 郡山ユラックス熱海         |
| 出席者 | 木村 六朗 (会長)            |

# 実 績 報 告 書

## 養護老人ホーム

### 福島恵風園

#### 1. 運営管理

- (1) 入所者の終のすみ家と考え、快適な生活が送れるよう、健康、食事、生活に潤いを与える行事活動の充実を図った。  
必要に応じて入所家族と連絡をとり、入所者の健康状態、生活の様子等を伝えていった。
- (2) 虐待高齢者、また一人暮らしによる生活苦の高齢者の積極的受け入れを行った。  
平成 23 年度に引き続き「地域生活定着支援センター」からの要請により矯正施設からの利用者の受け入れを継続した。
- (3) 「福島市あらかわクリーンセンター」からの給湯を風呂、床暖房に活用した。

#### 2. 職員体制

- (1) 土日・祝祭日の利用者への処遇改善のため、休日対応職員の強化と事務職員の日勤業務を実施した。
- (2) 職員間の共通課題意識向上のため、県内外への研修会へ参加し、随時報告研修会を実施した。
- (3) 円滑な夜間業務、また園内清掃のため、「福島市シルバー人材センター」との委託契約を継続実施した。
- (4) 「福島県雇用促進事業」また「福島市スタートダッシュ応援事業」を受け、資格取得希望者の支援と園内の清掃整備の徹底にもつなげた。

#### 3. 施設整備

- (1) 一般ボイラーの交換
- (2) 「福祉避難所に対する施設整備及び物品・機材整備事業」により助成をうけ、食料保管庫と物置 3 棟の設置をし、福祉避難所としての充実を図った。
- (3) 社会貢献活動 ALSOK ありがとう運動により福祉車両「ニッサンセレナチェアキャブリフタータイプ」を寄付して頂いた。(車両整備)
- (4) 建物周辺の汚染土壌の片づけを行った。

#### 4. 健康管理

- (1) 定期健康診断の他に C 型肝炎・HBs 抗原・ワッセルマンの血液検査を行い感染症の予防に努めた。
- (2) インフルエンザ・ノロウイルス予防のための啓蒙、各所の消毒設備と消毒、加湿、ウイルスガードの活用など予防に努めた。
- (3) 食中毒防止のための啓蒙に努めた。
- (4) 福島市放射線健康管理室の配慮により園にホールボディカウンター車を設置し、検査に対応できる入所者(42名)が検査を受け、異常なしの結果が出た。
- (5) 体力維持のために、冬季の輪投げ設備の設置、室内自転車の設置などをした。

#### 5. ニーズへの対応(余暇活動)

- (1) アンケートをもとに 10 コースの旅行を実施し、44 名が参加した。

- (2) 旅行のほかに春は花見、秋は紅葉狩り、買い物等、園外活動の充実を図った。
- (3) 花壇や畑の整備。特に畑からの収穫物を調理してもらい、収穫の喜びを味わった。
- (4) 呉服店に施設内での出店（年 2 回）をお願いし、外出困難入所者に買い物を楽しんでもらえるようにした。
- (5) ティッシュペーパー、歯磨き粉、歯ブラシなどの生活必需品の販売を入所者自治会「恵風会」による購買部で行い、利用者へのサービスの充実を図った。

#### 6. 地域交流活動

- (1) 「七夕盆踊り大会」「ゲーム大会」「運動会」を地域の協力を得て実施し、地域の子どもたちに喜ばれるなど貢献した。
- (2) ボランティアの積極的な受け入れを図った。
- (3) 中学校、高等学校の「体験学習の場」の提供と積極的にその受け入れを図る一方、幼稚園、保育園、小学校の児童との交流を継続実施した。
- (4) 大学生の実習生を積極的に受け入れた。(32名のべ160日)

### 通所介護(介護予防通所介護)

#### 福島恵風園デイサービスセンター

##### 1. 運営管理

- (1) 利用者のニーズに応じサービス提供時間を6時間から7時間に変更した。
- (2) 提供時間の延長に伴いくつろぎの時間を設け選べる活動を増やした。
- (3) 外部利用者の送迎を安全に安心出来る体制で実施した。
- (4) 入浴介助については、介護職員の確保をし、充実した介助を実施した。
- (5) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
- (6) 食事については、個々人のニーズに沿った提供を実施した。
- (7) ボランティア（虹の会）の協力を得て利用者へのサービス提供を実施した。
- (8) 教職員免許法の特例に基づく「介護等の体験」学生の受け入れを実施した。
- (9) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化の実施をした。

##### 2. 衛生管理

- (1) ノロウイルス流行、インフルエンザ発症もあり、園内の消毒徹底を図り感染拡大防止に努めた。
- (2) 高濃度プラズマクラスターイオンが発生する空気清浄器を整備し、ウイルス空気感染予防に努めた。
- (3) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。

##### 3. 環境整備

花壇の整備を行い、季節に応じた草花を植樹した。

## 居宅介護支援

### めぐみの風居宅介護支援センター

#### 活動状況及び事業内容

- (1) 他機関や各サービス提供事業所との連携を深めながら、介護ケアプランの作成や、委託事業である要介護認定訪問調査を実施した。
- (2) 委託を受けて、介護予防プランの作成を行った。
- (3) 利用者の生活の質の向上を目指し、サービス担当者会議の充実を図りながら介護ニーズへの総合的かつ効率的な視点に基づくサービス対応に努めた。
- (4) 福島恵風園内において定期的または随時に園内連携会議を実施し、円滑な役割分担の整理をして園内高齢者のニーズに即応した介護サービスの提供に努めた。
- (5) 東日本大震災被災者支援としてケアプランの作成を行い、他市町村や地域包括支援センターと連携しながら必要なサービス提供を行った。
- (6) 事業所内外研修や自己研修での研鑽を重ねながら、専門職としての質の向上に努めた。

## 訪問介護（介護予防訪問介護）

### ホームヘルプステーションめぐみ

#### 1. 運営管理

- (1) 福島恵風園在園者を中心にホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の介助、及びその生活全般にわたる援助を提供した。
- (2) 必要に応じて、地域に住まいの方の訪問介護を実施した。
- (3) めぐみの風居宅介護支援センター、地域包括支援センター及び福島恵風園との連携を密にとりながら、利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
- (4) サービス担当者会議への出席等により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
- (5) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し充実したサービス提供に努めた。
- (6) 土曜日、日曜日のサービスに対応するため職員の確保に努めた。

#### 2. 事業内容

- (1) 訪問介護・介護予防訪問介護を提供した。
- (2) 定期的な施設内研修会の実施・積極的な施設外研修会の参加をし、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。

#### 3. 衛生管理

- (1) インフルエンザ感染予防処置のため、マスク等ウイルス対策用品を備え使用した。
- (2) 利用者にもノロウイルス流行、感染者発生のため消毒を徹底し媒体とまらないよう感染拡大防止に努めた。

## 保育所

福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所  
福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

### 1. 運営管理

- (1) 児童福祉施設として、0歳から就学前までの児童が共に生活し、成長への意欲を高め、思いやりや頑張る心等を育んだ。また、地域との交流を深める保育ステーションとしての役割を果たすように努めた。
- (2) 適切な保育環境を整えるため、継続して線量を確認しながら再度除染を行い、情報を提供することにより、保護者の不安が少しでも軽減するように努めた。
- (3) 職員については、資質の向上、保育活動を重点的に種々の研鑽を積み重ねながら、入所児童の処遇の向上に努めた。

### 2. 保育状況

- (1) 子どもたちが意欲的に活動することにより、健康な心と体が育つように保護者の理解を得ながら戸外活動の時間と場所の拡大をした。
- (2) 室内あそびを充実させ、異年齢集団保育の利点を生かし、ゆずりあう心、いたわる心、自己表現ができる保育指導に努めた。
- (3) 保育所(園)を地域に開放し、地域の子どもや高齢者との交流を図りながら、より良い人間関係の育成に努めた。
- (4) 多様化する保育需要に積極的に対応するとともに、保育所の有する専門的機能を活用し、地域に開かれた保育所として保育対策等促進事業（一時預かり事業、保育所体験特別事業）、その他に世代間交流、異年齢児交流を実施した。

### 3. 食育状況

- (1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食事の提供を行った。
- (2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。
- (3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。
- (4) 医師の診断をもとに、アレルギー除去食を実施した。
- (5) 食中毒防止に常に留意するとともに、食材モニタリングを月2回行うことにより、保護者に安全を周知するように努めた。

### 4. 健康管理

- (1) 嘱託医による乳児健診（毎月）、内科健診（年2回）、歯科検診（年1回）を実施した。
- (2) 専門機関による蟻虫卵、尿検査（年2回）を実施した。
- (3) 衛生管理マニュアルに沿って、感染症の予防に努めた。

### 5. 安全管理

- (1) 建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。
- (2) 消防署の指導のもとに、総合訓練（通報・避難・消火）を実施した。
- (3) 児童にわかりやすい防災、防犯の指導に努めた。



- (4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いて知らせるとともに、保護者の理解を得ながら戸外へ出かける機会を持ち、実地指導も取り入れた。
- (5) 保育所に関する全ての個人情報の取り扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。

## 6. 施設職員の資質向上

- (1) 施設外研修・研究を実施した。
  - ① 県内外の研修会への参加。
  - ② 各部会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）への参加。
- (2) 施設協会内研修を実施した。
  - ① 年齢別運動遊びの公開保育。
  - ② 講師による運動遊びの研修。
- (3) 施設内研修を実施した。
  - ① 保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省。
  - ② 園外研修参加者による報告。
  - ③ 施設ごとにテーマを設定した自主研修。

## 子育て支援事業

### わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター

#### 1. 運営管理

東日本大震災以降少しずつ環境は改善しつつあるが、福島での子育ては未だに不安を拭いきれない状況がある。また、家族だけで子育てをすることはますます難しい状況の中、親子に寄り添い、不安を受け止めるとともに、様々な情報を提供し、共に学び、考え、遊びを通して子どもが健やかに育つよう活動してきた。また、関係機関と連携を図り、共に子育て支援事業を行った。

#### 2. 事業内容

- (1) 子育て親子の交流促進を実施した。

保育園を開放してその機能を活かし、多くの人と交流し遊ぶ広場の活動を継続実施してきた。また、地域の親子がより気軽に子育てセンターの活動に参加出来るように、園外にも親子の交流の場をもうけた。

さらに、子育てサークルのリーダー研修、運営サポートをし、サークルの活動がより充実し楽しく活動を続けられるよう支援をした。

- (2) 子育て等に関する相談を実施した。

子育て全般について、電話相談、子育てセンターへ来園しての面接相談、要請に応じて地域に出向いての訪問相談を実施した。

- (3) 子育てに関する情報を提供した。

パンフレット配布、ポスター掲示、ガイドブックやインターネットへの掲載等により、活動内容の広報をするとともに「子育て通信」の発行、その他子育て情報の紹介、各種チラシの配布などを行った。

- (4) 講習会を開催した。

講師を迎えて親の学習の機会や、親子での様々な体験活動を通して親と子が共に育つように支援をした。

(5) 関係機関・施設と連携をした。

関係機関と連携、事業の協力を図りながら子育て支援に取り組んだ。  
乳幼児健康診査への協力（福島市健康福祉部生涯健康課）、各学習センター講座講師、福島県子どもの心のケア事業協力、福島福祉施設協会子育て支援センター合同会議。

(6) 研修会への参加、調査・学習研究活動をした。

## 児童厚生施設

福島市東浜児童センター、福島市野田児童センター

福島市蓬萊児童センター、福島市清水児童センター、福島市渡利児童センター

### 1. 運営管理

地域の児童健全育成の活動拠点として、子どもたちに健全な遊びを提供して、運動に親しむ習慣の形成等により体力及び健康の増進を図ると共に、自主性、社会性を身に付け情操を豊かにするとともに、子育てサークル等青少年に関わる各種団体と連携し地域活動の育成助長を推進した。

### 2. 活動状況

(1) 子ども達が安全、安心して遊べる環境づくりに努めた。

- ① 非常通報装置、防犯カメラによる安全管理。
- ② 遊具等の充実と安全点検整備。
- ③ 修繕等による利用しやすい施設の維持管理。
- ④ 防火、避難訓練の実施。
- ⑤ 定期的な放射線量の測定。

(2) 放課後児童クラブ活動の充実に努めた。

- ① 放射線問題を配慮した事業の展開。
- ② 5 児童センター交流会への参加。
- ③ 保護者会との連携及び会主催事業への積極的な協力。

(3) センター主催事業の充実に努めた。

- ① 放射線問題を配慮した事業の展開。
- ② 地域のニーズを把握した各種教室やクラブ活動等の開催。

(4) 利用者の増加が図れるよう独自の広報紙の発行、ホームページの更新等広報活動の充実に努めた。

(5) 福島県及び福島市等の子育て支援事業の積極的な協力及び活用のために、活動の場や各種情報の提供、育児サークルへの参加等を行い、安心して子育てが出来るように支援・協力を努めた。

(6) 地域の異年齢児交流事業や世代間交流の推進に努めた。

(7) 地域組織の自主的な児童健全育成活動の支援を行った。（地域の安全点検活動等）

(8) 地域社会の児童福祉にかかわるネットワークづくりのために関係各機関と連携をとって子ども理解に努めた。

- (9) 職員の資質向上を図るための自主的な体系的、継続的な研修の実施及び被災地支援のための研修に参加した。
- (10) 中高生による各種ボランティア活動の実施を行い、センター利用へつながるように努めた。

## 生きがい型デイサービスセンター

### 福島市渡利デイサービスセンター

#### 1. 運営管理

在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。

#### 2. 運営方針

- (1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。
- (2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。
- (3) 事業目的の達成のため、地域の各種機関・団体等との連携を図り、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。

#### 3. 事業内容

- (1) 基本事業を実施した。  
生活相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。
- (2) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

## 老人福祉センター

### 福島市わたりふれあいセンター

#### 1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

#### 2. 運営方針

- (1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。
- (2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティー活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。
- (3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。

#### 3. 事業内容

- (1) 基本事業  
高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行った。
- (2) ふれあい交流事業  
世代間交流事業に参加した。

## 平成25年度 各施設利用状況

### 養護老人ホーム

施設名		福島恵風園		
定員		100人		
入所	人数(3月31日現在)	101人		
		通常入所		
		男	女	計
		24	77	101
		被災者受入		
		男	女	計
		0	0	0
退所	人数	18人		
	理由	男	女	計
	長期入院	0	0	0
	死亡	4	4	8
	老人保健施設への転所	2	3	5
	他施設への転所	1	1	2
	自宅へもどる	1	0	1
その他	2	0	2	

### 介護保険施設

#### 通所介護

施設名		福島恵風園デイサービスセンター	
年間延べ利用者数		3,123人	
1日平均利用者数		12.8人	
稼働日数		244日	
登録者	介護度内訳	人数(3月31日現在)	39人
		支援1・2	7人
		介護1	14人
		介護2	9人
		介護3	4人
		介護4	3人
		介護5	2人

#### 居宅介護支援

施設名		めぐみの風居宅介護支援センター	
居宅サービス計画作成実件数		79件	
予防委託実件数		6件	
給付管理年間総数		726件	
認定調査数		110件	
相談事業状況	他機関連絡	1,066件	
	来所	125件	
	訪問	1,235件	

#### 訪問介護

施設名		ホームヘルパーステーションめぐみ	
年間延べ利用者数		9,800人	
1日平均利用者数		26.9人	
稼働日数		365日	
登録者	介護度内訳	人数(3月31日現在)	48人
		支援1・2	3人
		介護1	19人
		介護2	15人
		介護3	3人
		介護4	6人
		介護5	2人

## その他の高齢者施設

### 生きがい型デイサービス

施設名	福島市渡利デイサービスセンター
年間延べ利用者数	2,955 人
1日平均利用者数	12.6 人
稼働日数	236 日
登録者数(3月31日現在)	82 人

### 老人福祉センター

施設名	福島市わたりふれあいセンター		
利用者数	個人	9:00～18:00	25,599 人
		上記のうち入浴者	22,537 人
利用者数	団体	9:00～18:00	4 件
		上記の人数	250 人

## 保育所

(単位:人)

施設名			福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員			120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数	0歳	22	22	17	12	15	13	101
		1～2歳	40	42	38	24	43	34	221
		3歳	29	20	15	12	22	20	118
		4歳以上	48	51	35	29	32	39	234
		計	139	135	105	77	112	106	674
充足率			115.9%	112.5%	131.3%	128.4%	124.5%	117.8%	120.4%
年間延べ	定員		1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数		1,608	1,567	1,178	825	1,312	1,227	7,717
	充足率		111.7%	108.9%	122.8%	114.6%	121.5%	113.7%	114.9%
	年齢別在籍人数	0歳	172	191	146	85	117	120	831
		1～2歳	489	529	442	267	526	399	2,652
		3歳	369	240	180	131	271	240	1,431
4歳以上		578	607	410	342	398	468	2,803	
計		1,608	1,567	1,178	825	1,312	1,227	7,717	

## 児童厚生施設

施設名		東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬萊 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者数 (人)	幼児	815	1,516	337	1,891	1,924	6,483
	1～3年	5,814	14,843	5,096	11,081	13,691	50,525
	4～6年	1,407	1,435	406	1,520	2,430	7,198
	その他	1,290	2,794	2,957	7,625	3,714	18,380
	計	9,326	20,588	8,796	22,117	21,759	82,586
	上記のうち登録児童	4,074	12,143	4,158	10,008	10,870	41,253
1日平均利用者		31.7	70.1	29.7	74.5	73.3	279.3
開館日数(日)		295	294	297	297	297	

地域子育て支援拠点事業

事業別利用者数	施設名	わかば子育てセンター				
	事業項目	開催回数 (回)	利用数			組
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)	
	子育て広場 ホール開放	234	714	628	1,342	565
	親子教室	13	150	137	287	133
	親子で遊ぼう「ちびっこ広場」	4	13	11	24	11
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」	40	320	318	638	318
	わかば「子育て広場」	11	71	64	135	64
	合計	302	1,268	1,158	2,426	1,091
	施設名	せのうえ子育て支援センター				
事業項目	開催回数 (回)	利用数			組	
		子ども(人)	大人(人)	合計(人)		
子育て広場「いちようひろば」	129	716	629	1,345	627	
親子教室「のびのびくらぶ」	15	239	233	472	206	
赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちわ」	11	141	140	281	140	
所庭開放	30	10	5	15	5	
子育てサークル出前保育	20	174	168	342	168	
合計	205	1,280	1,175	2,455	1,146	

相談内容	施設名	わかば		せのうえ	
		件数(件)	割合	件数(件)	割合
	基本的な生活習慣	7	14%	6	11%
	発育・発達	8	16%	1	2%
	医学的問題	2	4%	2	4%
	生活環境(近隣・家庭・入園等)	7	14%	16	28%
	育児方法	1	2%	7	13%
	子育て支援(事業内容・サークル)	26	50%	26	42%
	合計	51	100%	58	100%
	電話相談	14 件		37 件	
来所相談	33 件		21 件		